

下山口白石地区まちづくり推進協議会準備会 4 月定例会結果報告

平成 30 年（2018 年）4 月 14 日
下山口白石地区まちづくり推進協議会準備会
代表 小林正典

2018 年 4 月 14 日（土）に 4 月の月例会を開催しました。主な概要は次の通りです。

1. 支持書回収

2018 年 3 月 31 日時点で 497 の対象家屋に対し、総数 262 通の支持書の提出があることが確認されました。2 月にゾーン 2 の不在地権者 29 名に対し、協議会準備会の活動報告と支持書用紙を同封した書簡の郵送を完了していることが報告されました。また、既にゾーン 3、1、4 と書簡の送付を完了していることから、ゾーン 2 の不在地権者を特定し、同様に書簡および関連書類の送付の作業を進めることが確認されました。

2. 特定開発事業説明会

構想区域内で建設された個人宅が、当初の計画では建物の高さが 9.8 メートルであったものが、建設途中での計画変更により、11.6 メートルとなったことで、まちづくり条例に基づき、3 月 17 日（土）午後 2 時—3 時半に下山口会館 1 階集会室で説明会が開催されたことが報告されました。説明会では、地域住民よりまちづくり条例の遵守の重要より重要性が相次いで指摘された点、および、（開発・建設）計画書が 4 月 6 日までの予定で葉山町役場都市計画課窓口にて閲覧が可能となっている点、ならびに、意見書の提出期限が 4 月 23 日となっている点を確認されました。

3. 下山口開発案件陳情書の取り扱い

下山口 1982 でのマンション建設および宅地造成の開発案件については、2 件の陳情が町議会に提出されていましたが、別途、葉山町を相手方とする行政訴訟が提起されたことで、継続審議となったとの情報共有がありました。

4. 地域開発と協働を通じたまちづくり

パナホームマンション建設予定地であった下山口の敷地は 7 区画での分譲がなされており、新地権者に対し、協議会準備会の活動およびを周知し、景観・自然保護や地域社会に配慮した開発・土地利用をお願いしていくことが重要であるとの指摘がありました。

以上